



# あいちの3R~2030年最終処分場ゼロ社会をめざして~

グループ名：チーム3R (DuseUseCycle)  
 メンバー：新井正徳、佐藤実、高地昌幸、徳島淳平  
 チュータ：窪田光宏

## 現状の把握 (課題認識)

- ・排出量は、一般廃棄物で横ばい、産業廃棄物では増加
- ・リサイクル、資源化が推進され、最終処分量は減少

**しかし!**

- 一廃：総排出量の約11.3%が埋立て処分!
- 産廃：総排出量の約5.7%が埋立て処分!
- ・既存最終処分場の残余年数は約10年と逼迫している
- ・用地確保等の理由から新規建設が困難である
- ・既存の最終処分場は資源化効率の高い廃棄物が多く、埋まっている「都市鉱山」となっている

## 2030年に向けての提言の概要

3Rの徹底  
 +  
 溶融処理と山元還元  
 +  
 既存埋立物 (都市鉱山) の資源化処理  
 =

**最終処分場 "0" 社会**  
 環境負荷の少ない住みよい「あいち」

## 提案の内容

### 1. 3Rの徹底 ☆4つのポイントで提案☆

制度      技術      教育      文化

- ① トヨタ3Rカップ
- ② 発展途上国留学制度
- ③ マイボトル自販機
- ④ 学校給食用食材の自給化
- ⑤ あいち国際匠センター
- ⑥ あいち環境市場

### 2. 溶融処理と山元還元

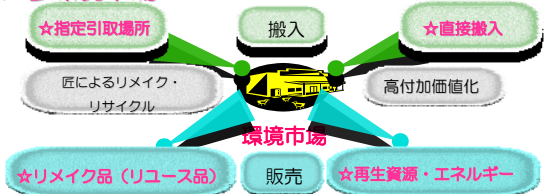
- ・3R以降の廃棄物は溶融処理の後、山元還元処理を実施し、資源化処理とごみ発電、そして埋立物ゼロへ
- ・スラグ、メタルの再利用促進 (「あいくる」の認定)

### 3. 既存埋立物 (都市鉱山) の資源化処理

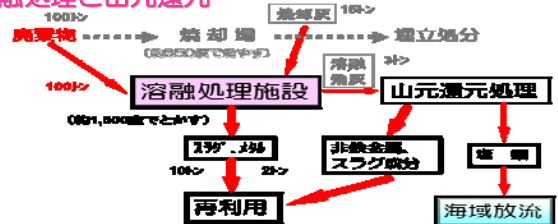
- ・資源が含まれる既存埋立物の掘起しを実施
- ・処分場跡地の有効利用 (公園、農場、森林等の整備)

## 提案実現のための具体的な取り組み (アクションプラン) と実現可能性

### ・あいち環境市場



### ・溶融処理と山元還元



## 波及効果

- ・廃棄物の発生抑制や、再使用及び再生利用への意識の向上が養われ、使い捨て文化からの脱却を図る
- ・「あいち国際匠センター」と「あいち環境市場」を中心に、3Rに高付加価値化の要素を加えた新たな3R文化が形成される
- ・溶融処理・山元還元技術を導入した廃棄物溶融処理にて、愛知県内から最終処分場がなくなる
- ・処分場跡地を公園・農場・森林等で活用することにより、環境負荷の少ない住みよい「あいち」が構築される
- ・環境先進県「あいち」を世界に向けてPRすることができ、環境先進県としてトップランナーとなる